

第1問 数と式、命題、2次関数

[1]

$$(a-2)x \geq 2a^2 - 5a + 2 \quad (a \neq 2) \quad \dots \textcircled{1}$$

$$|x+1| \leq 3 \quad \dots \textcircled{2}$$

(1) ①の右辺は,

$$2a^2 - 5a + 2 = (a - \boxed{2})(\boxed{2}a - \boxed{1})$$

と因数分解できるから、①は,

$$(a-2)x \geq (a-2)(2a-1)$$

となり、解は,

$$a > \boxed{2} \text{ のとき, } x \geq 2a-1,$$

$$a < 2 \text{ のとき, } x \leq 2a-1$$

である。したがって、**オ**、**カ**に当てはまるものはそれ

ぞれ **②**、**③** である。

(2) ②より,

$$-3 \leq x+1 \leq 3$$

であるから、②の解は,

$$-4 \leq x \leq 2$$

である。

(i) $a > 2$ のとき,

$$2a-1 > 3$$

であるから、①かつ②を満たす負の整数 x は存在しない。

(ii) $a < 2$ のとき,

①かつ②を満たす負の整数 x がちょうど二つ存在する条件は,

$$-3 \leq 2a-1 < -2$$

であり、これを解くと,

$$-2 \leq 2a < -1$$

$$\boxed{-1} \leq a < \frac{\boxed{-1}}{\boxed{2}}$$

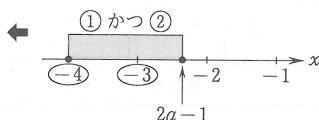
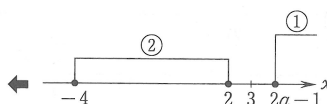
である。

したがって、**ケ**、**コ**に当てはまるものはそれぞれ

③、**①** である。

← $a < 2$ のとき、 $a-2 < 0$ であるから、負の数 $a-2$ で①の両辺を割ると、不等号の向きは変わる。

← $k > 0$ のとき、 X の不等式について、 $|X| \leq k \Leftrightarrow -k \leq X \leq k$ 。



$2a-1 = -3$ のとき、①かつ②は、 $-4 \leq x \leq -3$

となるから、①かつ②を満たす負の整数 x は,

$$-4, -3$$

の2つであり、適する。

$2a-1 = -2$ のとき、①かつ②は,

$$-4 \leq x \leq -2$$

となるから、①かつ②を満たす負の整数 x は,

$$-4, -3, -2$$

の3つであり、適さない。

[2]

 $s=0.\dot{4}$ とおくと,

$$\begin{array}{r} 10s=4.444\cdots \\ -) \quad s=0.444\cdots \\ \hline 9s=4 \\ s=\frac{4}{9} \end{array}$$

である.

したがって, **セ** に当てはまるものは **②** である.また, $t=8.\dot{4}$ とおくと,

$$\begin{array}{r} 10t=84.444\cdots \\ -) \quad t=8.444\cdots \\ \hline 9t=76 \\ t=\frac{76}{9} \end{array}$$

である.

したがって, **ソ** に当てはまるものは **⑥** である.

よって,

$$a=0.\dot{4}=\frac{4}{9}, \quad b=8.\dot{4}=\frac{76}{9}$$

である.

命題 P:「 $x^2 < a$ または $x^3 > b-a$ 」 ならば $x > -1$ の対偶は,

$$x \leq -1 \quad \text{ならば} \quad [x^2 \geq a \text{ かつ } x^3 \leq b-a]$$

である.

したがって, **タ**, **チ** に当てはまるものはそれぞれ**⑦**, **⑨** である.ここで, $x^2 \geq a$, すなわち $x^2 \geq \frac{4}{9}$ を満たす実数 x の値の範囲は,

$$x \leq -\frac{2}{3}, \quad \frac{2}{3} \leq x \quad \cdots \text{①}$$

である.

また, $x^3 \leq b-a$, すなわち $x^3 \leq 8$ を満たす実数 x の値の範囲は,

$$x \leq 2 \quad \cdots \text{②}$$

である.

よって, ① かつ ② を満たす実数 x の値の範囲は,

$$x \leq -\frac{2}{3}, \quad \frac{2}{3} \leq x \leq 2 \quad \cdots \text{③}$$

であるから, P の対偶は,

$$x \leq -1 \quad \text{ならば} \quad [x \leq -\frac{2}{3} \text{ または } \frac{2}{3} \leq x \leq 2]$$

と同値であり, これは真である.

$$\begin{aligned} \leftarrow \quad 8.\dot{4} &= 8 + 0.\dot{4} \\ &= 8 + \frac{4}{9} \\ &= \frac{76}{9} \\ &\text{としてもよい.} \end{aligned}$$

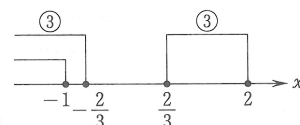
$$\leftarrow \quad \text{命題「} p \Rightarrow q \text{」の対偶は,}$$

$$\overline{q} \Rightarrow \overline{p}.$$

また,

ド・モルガンの法則

$$\begin{aligned} \overline{p \text{ または } q} &\Leftrightarrow \overline{p} \text{ かつ } \overline{q}, \\ \overline{p \text{ かつ } q} &\Leftrightarrow \overline{p} \text{ または } \overline{q}. \end{aligned}$$



ゆえに、P も真である。

したがって、ツ に当てはまるものは ⑩ である。

さらに、

$$\begin{aligned} & \left[x^2 < \frac{4}{9} \text{ または } x^3 > 8 \right] \\ \Leftrightarrow & \left[-\frac{2}{3} < x < \frac{2}{3} \text{ または } x > 2 \right] \end{aligned}$$

であることと、

$$\text{命題: } \left[-\frac{2}{3} < x < \frac{2}{3} \text{ または } x > 2 \right] \text{ ならば } x > -1$$

は真であり、

$$\text{命題: } x > -1 \text{ ならば } \left[-\frac{2}{3} < x < \frac{2}{3} \text{ または } x > 2 \right]$$

は偽である（反例は $x=1$ など）ことから、

$$\text{命題: } \left[x^2 < \frac{4}{9} \text{ または } x^3 > 8 \right] \text{ ならば } x > -1$$

は真であり、

$$\text{命題: } x > -1 \text{ ならば } \left[x^2 < \frac{4}{9} \text{ または } x^3 > 8 \right]$$

は偽である。

よって、 $x^2 < \frac{4}{9}$ または $x^3 > 8$ であることは、 $x > -1$ であるための十分条件であるが、必要条件ではない。

したがって、テ に当てはまるものは ② である。

[3]

$$\begin{aligned} f(x) &= x^2 - 4ax + 5a^2 + 2a - 8 \\ &= (x - 2a)^2 + a^2 + 2a - 8 \end{aligned}$$

と変形できるから、G の頂点の座標は、

$$\left(\boxed{2}a, a^2 + \boxed{2}a - \boxed{8} \right)$$

である。

(1) G は下に凸の放物線であるから、G が x 軸と異なる2点で交わる条件は、

$$(G \text{ の頂点の } y \text{ 座標}) < 0$$

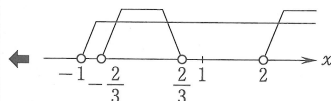
である。

よって、求める a の値の範囲は、

$$\begin{aligned} a^2 + 2a - 8 &< 0 \\ (a+4)(a-2) &< 0 \\ \boxed{-4} < a < \boxed{2} \end{aligned}$$

である。

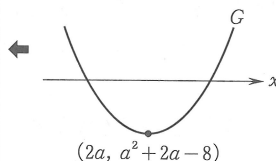
← 命題とその対偶は、真偽が一致する。



← 命題「 $p \Rightarrow q$ 」が真、「 $q \Rightarrow p$ 」が偽であるとき、 p は q であるための十分条件であるが、必要条件ではない。

← 放物線 $y = a(x-p)^2 + q$ の頂点の座標は、

$$(p, q).$$



(2) G が x 軸の $x \geq 1$ の部分と異なる 2 点で交わる条件は,

$$\begin{cases} (G \text{ の頂点の } y \text{ 座標}) < 0, & \dots \textcircled{1} \\ \text{軸: } x = 2a > 1, & \dots \textcircled{2} \\ f(1) = 5a^2 - 2a - 7 \geq 0 & \dots \textcircled{3} \end{cases}$$

である.

① より,

$$-4 < a < 2 \quad \dots \textcircled{1}'$$

である.

② より,

$$a > \frac{1}{2} \quad \dots \textcircled{2}'$$

である.

③ より,

$$\begin{aligned} (5a-7)(a+1) &\geq 0 \\ a &\leq -1, \quad \frac{7}{5} \leq a \quad \dots \textcircled{3}' \end{aligned}$$

である.

よって, 求める a の値の範囲は, ①', ②', ③' の共通部分より,

$$\frac{7}{5} \leq a < 2$$

である.

